

第44回 内田地区文化祭

第23回 内田地区福祉ひろばまつり

11月7日(日)に、第44回内田地区文化祭、第23回内田地区福祉ひろばまつりが開催されました。大勢の方々が来場され、天候にも恵まれて楽しいひと時を過ごしました。

また、前日の6日には、8月14日に大雨のため中止となってしまった「悪疫退散打ち上げ花火」が、多くの要望により実施され、見事な花火が内田地区の夜空を彩りました。

コロナ禍が収まりつつある中でしたが、感染対策を施し、入場者数の制限も行い、万全の体制で臨んだ関係者の皆様のご苦労には感謝いたします。

昨年続き、1日のみの開催でしたが、絵画、陶芸、習字、工芸品などの様々な作品展示や、午後に福祉ひろばで行われたステージ発表、農産物の直売、子ども文化祭と盛り沢山のイベントで賑わいました。

フィナーレは、見事な秋晴れの中、公民館前の駐車場にて内田地区の伝統でもあるササ踊りを披露いただきました。

第6町会 今福 三郎



令和3年11月1日現在	
世帯数	987 戸
人口	2,322 人
男	1,161 人
女	1,161 人



ロマンハープの会



メロディーベル



体づくりサポーター



フルウ6プラスONE



プアリア



ササ踊り



作品展示①



作品展示③



くじ引き



作品展示②



子ども文化祭



打上げ花火

明善小学校2年生とササラ踊り



明善小学校の2年生に「ササラ踊り学習講座」を2回開きました。講師はササラ踊り保存会のみなさんです。練習の成果は、10月15日(金)の体育参観で披露され、ササラの音も振付も息がぴったりでした。以下、練習の感想を掲載します。

1組 成嶋 心都
 ささらおどりをやってみて、ずっとむかしからやっているんだなと思いました。なぜかというところ、日本のみりよくをかんじたからです。わたしは、体いくさんかん日でお父さんとお母さんにほめてもらえるように、かっこよくおどりたいです。

1組 森山 実咲
 ささらおどりをやってみて楽しいと思いました。なぜかというところ、ささらの音がいいからです。わたしはささらの、シヤランシヤランというおどりが、いいからです。わたしは体いくさんかん日のおささらおどりは、ささらをさいしよからさいしよまでささらをならすから、かっこよくおどりたいです。

2組 神山 さつき
 きょうは、2回めのささらおどりをしました。まえむずかしかったところがれんしゅうをしてできるようになりました。まえよりおどりがじょうずにできてうれしかったです。ほんばんはもつとじょうずにおどれるようにがんばりたいです。

2組 二木 そう
 九月十日金曜日(晴れ)
 二日間目は内田公みんかんでささらおどりのれんしゅうをしました。さいしよにおどりのれんしゅうをしました。一回目でおどりがたはせんぶおぼえました。つぎはささらのれんしゅうをしました。ささらは竹でできていてならすのがとてもむずかしかったです。なんどもれんしゅうしてきれいにうごかせるようになりました。つぎはみんなときれいにおどれるようになりたいです。

市民体育大会 市長杯争奪球技大会

10月10日(日)に第64回市民体育大会が開催され、内田地区からは、ゲートボール、マレットゴルフ(いずれも男



ゲートボール



マレットゴルフ

子)のチームが出場しました。ゲートボールは、予選ブロックで1勝1敗し惜しくも予選敗退、マレットゴルフは参加22地区中7位入賞という結果でした。31日(日)開催の第38回松本市長杯争奪球技大会には、ゲートボール(男女混合)のチームが出場し、結果は予選敗退でしたが、10地区中5位という好成績を収めました。

つれづれ編集記

今年を振り返るのには早いか？ 今10月半ば稲刈りも終わり私の仕事も繁忙期が過ぎたところ。今年もコロナで始まった年ですが、大きな災害もなく農作物が豊作であると願っていました。

ですが5月の霜の影響で麦の穂先が凍みてしまい大幅減収、ジュース用のトマトは最初は玉も大きく色も

素晴らしい、雨も少なく今年はいいぞと思っていた矢先、お盆の大雨二、三日後にはトマトは割れてしまい、ほとんど収穫量も減っていきました。次は米に期待、ところがあの盆中の雨、天候不良で稲が黄金色にならない、青いまま稲刈りスタート、米も減収かなと思っていたら屑は多いが収穫量は豊作。終わりがければ全てよしとはいかないが、これからまく麦は来年6月豊作であってほしいものだ。

第3町会 横山 博

